

今年度最初の定期テストが間近に迫る

6月2日(木)に前期中間テストのテスト範囲発表があり、6月9日(木)・10日(金)の2日間、テストが予定されています。1年生にとっては、中学校での初めての定期テストとなるため、不安も多いことでしょう。しかし、定期テストは、日ごろの学習の定着度合いを測るものであり、日々の授業や課題をしっかりとこなし、内容を理解できていれば、何も恐れることはありません。今回のテストで、今後、何をどう勉強するとよいか明らかになるはずです。

現在、各学年ともテストに向け、更に落ち着いた学習の様子が見られます。以下、最近の学校内の様子をご紹介します。

道徳の導入授業 (小さな道徳)

6月1日(水)、朝の学習の時間を使い、1・2年生において、6時間目に行う道徳授業の導入として、教員自作の教材ビデオを見ました。ビデオは、地域の方でジョギングをしながらゴミ拾いを行っているボランティア団体に教員自ら参加し、その活動をレポートするものでした。



この自作の教材ビデオは、2人の教員が、実際にボランティア活動に参加し、録画、編集をしたものです。このように、教員の工夫とアイデアで時間をかけて教材作りをすることもあります。

タブレットの活用

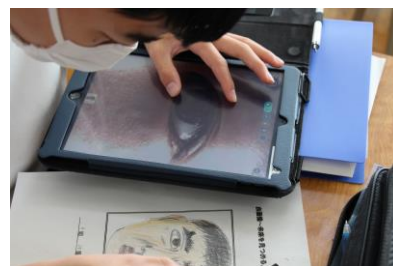
右の画像は、特別支援学級の生徒が紙袋のデザインを描くために、タブレットを使い、電車の絵を描こうとしている場面です。この絵の描かれた紙袋が、今後、特別支援学級の校外活動の際に使われるそうです。楽しみにしててください。



左の2枚の写真は、タブレットを活用した授業の様子です。今後は、理科と英語でデジタル教科書を導入し、効果等の検証をしていきます。

デジタル教科書には、自由に書き込みができ、拡大などの便利な機能も備わっています。また、これまでのように教科書のQRコードを読み込まなくても、国語や英語などは、音読機能を簡単に活用することができます。英語の発音などを勉強するのに、大変便利になると思います。

タブレットの活用方法には他にも様々あり、美術での自画像を描く場面では、タブレットで自分の顔を写真に撮り、それを見て自画像を描いています。また、その際、顔の一部を拡大し、より特徴的に描くなどの工夫もしています。右の写真は、自分の目を拡大し、より特徴的に描こうとしている様子です。



タブレットに自分の考えを書き込み、教員に送信するとクラス全員の意見を個人のタブレットで確認することができます。これにより、普段手を挙げて発表することが苦手な生徒の意見もクラスで共有することができます。また、左の写真のように教員から送られた情報や友達の考えなどをタブレットで確認し、グループ内で話し合い活動なども行っています。



このように、タブレットを使うことで、より具体的でわかりやすい教材や問題の提示ができること。また、写真や動画撮影、拡大、縮小、デジタル教科書の活用など、タブレットの使い方を工夫することで、生徒の理解を促し、学力向上につながると考えます。また、何よりも視覚に訴えることは、生徒の興味関心を持続させます。更に、多くの生徒の考えを埋もらせることなくみんなで共有できます。今後は、タブレットも上手に活用し、多くの生徒に活躍の場を設定していきたいと思えます。

給食の様子



上の写真は、ある日の給食の様子です。一番左の写真は、配膳の様子です。給食当番が正しく白衣とマスクを着用している様子がわかります。真ん中の写真は、配膳を終えた生徒が自席で待っている様子です。ここでも感染対策として黙って待っていました。一番右は、黙食の様子です。生徒も随分と慣れた様子です。いつか、会食できる日が来るのを願うばかりです。

これ以外に、生徒が「おかわり」をする際は、各クラスの担任が、各々エプロンと帽子などを用意し、感染対策に努めています。このような努力と新型コロナウイルス感染症に関する対策意識が、今回、どの学年も宿泊行事ができたことにつながったと感じています。



まだまだ、新型コロナウイルス感染症対策は続けなければなりません。生徒の学びを保障するため、徐々に感染対策を緩和するなど、慎重に考えていきます。加えて、熱中症対策としてマスクの着用についても考えいきます。その際には、御家庭での御理解と御協力をいただくこともあろうかと思いますが、よろしくお願いいたします。